

旭川市議会議員

笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863

kasagi@potato.hokkai.net

お元気ですか



秋も深まり枯葉舞う季節となりました。皆様お元気でしょうか。「かおる通信」33号をお届けします。これからも春夏秋冬をサイクルに発行させていただきます。ご覧いただき、ご指導くだされば幸いです。旭川市議会議員 笠木かおる



多くの激励をいただきました



連合後援会（山川博千会長）主催で8月19日、JAあさひかわ農協において「笠木かおる君を囲むビールパーティ」を開催していただきました。当日は480名もの方々にご出席いただき、多くの励ましを頂戴しました。心から厚くお礼申し上げます。これからも、郷土・旭川のまちが少しでも良くなるようにしっかり頑張りたい、の気持ちを新たにさせていただきました。



パークゴルフ大会を楽しみました



第5回笠木かおる杯親睦パークゴルフ大会が9月24日、ぴっぴパークゴルフ場で開催されました。当日は天候にも恵まれ260名の皆様とプレーを楽しませていただき、大変嬉しく感謝しています。男性の優勝は大柳勝美さん(スコア101)女性の優勝は佐藤清乃さん(スコア104)でした。旭川市パークゴルフ協会(浅野清会長)の顧問をさせていただいていることもあり、協会の皆様にも大変お世話になりました。これからも、パークゴルフの振興に全力を注いでいきたいと思えます。



信号機ができました



このほど、下4号線と5線道路(東旭川町共栄)交差点に信号機が設置されました。ここは道道と市道が交差し事故が多発、共栄三栄町内会など地域の皆さんとともに設置運動をすすめてきた場所で、ほっとしています。また、東旭川の徳蔵寺前など、設置が急がれる箇所があり、地域の皆さんと設置要請を強めています。



農業視察に出向いてきました



10月17日から青森県三沢市と茨城県水戸市を訪ね、農産物ブランド化などについて視察しました。両市とも耕地面積や就農人口の減少が続くなか、ゴボウや豆類などの生産に力を入れ、特色ある農業振興をすすめていました。私の父も生前、母親とともにシシトウ栽培で生計を維持しました。がんばる農家の皆さんとともに、豊かな農村づくりに努めたいと想い強くした視察でした。



中国総領事館と交流



このほど、日中友好道民会議(古川隆之会長)の招待で中国札幌総領事館との交流会に顔をだしました。会場の領事館中庭はあいにく工事中でしたが、斉江(さい・こう)総領事はじめ関係者と有意義な交流ができました。日米関係は重視しなければなりません、日本経済の将来を考えても近隣アジアとの友好が大切な時と思いました。

町内会館の落成を祝う



千代田地区の北新栄町内会館が落成し9月11日、祝賀会に出席しました。土地は旭川市から無償で借上げ、建設費の半分は地元町内負担、残り半分は旭川市から補助され実現したものです。麻下昂会長ら町内の役員の皆様とともに旭川市に対応させていただいたこともあり、私も非常に嬉しい祝賀会でした。



まつりや敬老会

3回 共生園まつり



8月から9月にかけて、それぞれの地域や施設でお祭りや敬老会が賑やかに開かれました。明治・大正・昭和の激動の時代を生き抜き、いまの社会を築かれた諸先輩の皆様にはつきなみですが「ご健康で長生きをしてください」と願うばかりです。特別養護老人ホーム・身体障害者療護施設「共生園」のまつりには、旭川市消防音楽隊も特別出演してくれました。



(近況報告) 相変わらず孫・太志君は好奇心旺盛で家族の中心人物。ボール蹴りが得意なようで「将来はサッカー選手」と勝手に期待し、「期待は幻滅につながるよ」と、垂いからいわれています。

第3回定例市議会が終わりました

平成16年度決算の認定を主とする第3回定例市議会は9月16日に開会し、10月14日までの29日間の会期で開かれました。

以下、私の本会議での一般質問要旨について報告します。



急がれる財政健全化

(笠木) 市役所の徹底改革が急がれるが市長の決意をお聞かせいただきたい。

(答弁) 「非常事態」ともいえる厳しい財政状況であり、さらに踏み込んだ改革を進め、財政の健全化に全力を尽くす。

(笠木) 職員給与の削減は避けて通れないのか。

(答弁) 非常に重たいが、財政再建計画の市民理解を得るには、職員給与の削減は不可欠と判断した。

(笠木) 人事院は来年から地域給の導入を目指しており、そうなればその分、国からの交付税が減額される。財政健全化計画は根底から崩れるのではないか。

(答弁) 仮にその分、交付税が減額となった場合、その段階でさらに計画を見直さなければならない。

【解説】市役所改革は、効果的・効率的な行財政運営で最大の市民サービスの提供、持続可能な街づくりに変革することです。

言葉では簡単ですが、来年から予定される市長15%特別職11%、管理職9%、一般職7%の給与削減など、相当な痛みが伴う訳で大変な仕事です。

私は外注や民間委託の徹底で行政組織をスリム化し、本俸の削減は避けるべきと主張してきましたが、残念ながら改革の進行以上に市財政が悪化、本俸削減に着手することになります。



プラ・紙容器の分別は来年6月から

(笠木) 来年6月からはじまるプラスチック製と紙製容器の分別費用に3億円の経費が必要だ。圧縮・梱包された資源物を買ってもらうルートを開発すべきだ。

(答弁) 資源化には多額の経費がかかることから、買取ルートについて研究する。

(笠木) 芳野最終処分場の使用期間は15年と定めているが、事業系ごみの埋立て量も減り、資源化率も増えている。20年以上使用期間は可能だが見直す考えはないか。

(答弁) 実際の埋立容量がどのくらいになるか見極めていきたい。

(笠木) 19年度からの家庭系ごみの有料化で、1リットル2円とすると全体で8億7千万円となる。市民に使用目的を示すべきでないか。また、業務の見直しを先行すべきだ。

(答弁) 手数料収入については減量化やリサイクルの推進など環境予算に活用したい。一層の業務の効率化に努める。

【解説】プラ容器と紙容器の分別が来年から始まりますが、いまの計画では、せっかく資源化したものを「お金を払って受け取ってもらう」やり方で、その改善を求めています。

芳野最終処分場の建設費は96億円で、15年使用だと減価償却費は6億4千万円です。最終処分場を大切に使い、埋立量を減らせば償却費は4億円まで圧縮可能と主張しています。

家庭ごみが有料化された場合、1世帯当りの新たな負担額は年間5千4百円です。「新たな税金」ともいえる負担額を、市民サービスの何の経費にあてるのかを正しています。



生涯学習センター建設は慎重に

(笠木) 生涯学習センター基本構想の見直しは考えているか。

(答弁) 既存施設を有効活用するなかで機能展開することを考えたい。

【解説】神楽の森林管理局施設を購入し、中央公民館機能をそこへ移行することになりました。

公会堂はまだ使えますし、鷹栖のメロディホールや東川・東神楽のギャラリーなどの広域的使用を視野に入れば、莫大な建設費がかかる同センターの新築構想は慎重にすべきとの立場をとっています。



つつじ学園は北海道療育園に運営委託へ

(笠木) つつじ学園の民間移譲が急がれる。取り組み状況はどうなっているか。

(答弁) 特定の社会福祉法人と協議をすすめており現在、具体的な条件整理を行っている。

【解説】このほど、つつじ学園を北海道療育園に運営委託する方針が決まりました。

つつじ学園は年間約1億3千万円の赤字経営が続き、約6帖のスペースに4人が生活するという劣悪な環境で、一刻も早い改善が求められていました。

まずは生活環境の改善すすめ、最終的には早期改築整備と療育園への完全移譲の条件整備が求められています。



北都商高の将来像を明確に

(笠木) 将来の北都商高のあり方について求められているが、どう考えるか。

(答弁) 教育委員会の検討を踏まえながら、設置者として適切な時期に将来のあり方について判断したい。

【解説】現在、道教委は中学卒業生の減少に伴い道立高校の統廃合をすすめるようとしています。北都商高の存続を選択すれば、同じパイのなかで、道立高校が廃校になる恐れもあります。北都商高と、どこかの道立高校が「対等統合」して、北都商高の歴史と伝統を継承することも一つの選択肢と主張しています。



総合防災センターで総合体育施設機能の補完を

(笠木) 総合防災センターの平常時の市民開放について、総合体育施設機能が補完できる設計と考えてよいか。

(答弁) 平常時は体育的活動に利用いただける設計にしたい。

【解説】東光スポーツ公園に建設される総合防災センターは約30億円をかけて明年、工事が着工されます。

防災センターとしては完璧でも、市民開放施設としては「帯に短したすきに長し」とならないようにと、強く言い続けてきました。多目的ホールではバスケットボールやバレーボール、支援物資集配センターでは野球やサッカー練習などもできる設計になる予定です。また、会議室や和室なども利用できることになりす。



このほか、第3セクターの情報公開のあり方などについても質問しましたが紙面上、省略させていただきます。